

第40回日本血液事業学会総会
総会長 高 松 純 樹

第40回日本血液事業学会総会会告(2)

第40回日本血液事業学会総会を下記のとおり開催いたします。会員の皆様には多数ご発表、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

[会期]	2016年10月4日(火)・5日(水)・6日(木)
[会場]	ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
[テーマ]	「血液事業の新たな地平～創造と転換～」
[学会HP]	http://jbp40.umin.jp/

I. 特別講演

- (1) もの作り愛知
- (2) 新医療体制の展開
- (3) 献血思想普及・推進と血液事業の調和

II. 特別教育講演

- (1) E型肝炎
- (2) 採血時の神経損傷の病態と対策・治療
- (3) 輸血細胞治療の新たな展開と血液事業

III. 教育講演

- (1) 血液検体を用いた研究課題とその成果
- (2) おもてなしについて
- (3) 自己血輸血に伴う自己血血管スケールの考察
- (4) 交通事故減少に向けてのKM理論の実践
- (5) 医療訴訟について

IV. シンポジウム

- (1) 血液センターにおける看護師の役割
- (2) 救急医療を支える血液事業とは
- (3) MRの果たすべき役割
- (4) 血液事業運営体制の再構築
- (5) さい帯血移植を含む造血幹細胞移植の現状及び今後の課題
- (6) 広域的事業の更なる発展のために～供給体制の再構築～

V. ワークショップ

- (1) 輸血用血液製剤の安全性とサービスの在り方
- (2) 血液事業における品質照査～どこまでやる？なにができる？なにが必要？～
- (3) 献血推進とボランティア活動

VII. 特別企画

(1) 地域からの挑戦

第1部 献血推進における現状と今後の課題

第2部 災害にどう対応したか

(2) ブロック血液センター所長推薦優秀演題

血液センター会員から演題登録された一般演題の中から、所属の血液センターで優秀と考えられる演題1題を各ブロック血液センター所長へ推薦していただき、各ブロック血液センター所長が自施設の優秀演題と併せて、それらの中から2~3演題を選考していただきます。その後、各ブロック血液センター所長から推薦された演題について、プログラム委員会でブロックごとに1題の優秀演題を決定させていただきます。

VIII. 「第5回献血ポスターコンペティション」投票

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センターが主催する東海北陸7県内の若年層の方を対象とした献血ポスターコンペティションの応募作品について、優秀作品を選考するための投票を実施いたします。

VIII. 共催セミナー

学会期間中の昼の時間帯に、共催セミナーを開催いたします。

IX. 一般演題

口演発表またはポスター発表のいずれかといたします。なお、発表形式は変更させていただく場合もありますのでご了承ください。

発表要項および発表日程はホームページでお知らせいたします。

- ・口演発表は7分、討論3分を予定しています。
- ・ポスター発表は、座長による掲示前での移動討論形式で行います。発表時間は4分、討論2分を予定しています。
- ・「採血をめぐる諸課題」について一般演題として募集し、一般演題からワークショップに変更させていただく場合があります。

X. 発表演題の提出

- (1) ブロック血液センター所長推薦優秀演題、特別講演、特別教育講演、教育講演、シンポジウムおよびワークショップの司会者並びに演者は、発言内容（演題名、所属、氏名）を含めて和文3,200字以内（図表、写真等は1点400字に換算）の発表論文を総会終了後、2週間以内に運営事務局まで提出してください。
- (2) 一般演題は予め発表論文を作成する必要はありませんが、一部の演題について総会終了後、機関誌「血液事業」編集委員長から論文としての投稿推薦を当該演者あてにお願いする場合があります。

XI. 関連行事

会員交見会

日時：2016年10月5日（水）18:30より

場所：名古屋観光ホテル

XII. プログラム編集

下記の方々にプログラム委員をお願いいたしました。

清川 博之, 清水 博, 高松 純樹, 高本 滋, 田所 憲治,
土肥 博雄, 中島 一格, 日野 学, 藤村 吉博

(順不同, 敬称・所属省略)

第40回日本血液事業学会総会 演題応募規程

1 資 格

- (1) 筆頭演者は、日本血液事業学会会員に限ります。ただし、共同演者はこの限りではありません。
- (2) 演題は未発表のもので一演者一題とします。

2 演題登録

演題登録は、第40回日本血液事業学会総会ホームページより、UMINを使用して行ってください。
<http://jbp40.umin.jp/>

3 UMINによる登録

(1) UMINによる登録

ア UMINオンライン演題登録システムでは、現在、Internet Explorer [Ver.6.0以上を推奨]、Safari [Ver.2.0.3(417.9.2)以降]、Firefox [すべてのバージョン]、Google Chrome [すべてのバージョン]以外のブラウザでは演題登録できません。演題登録には、Internet Explorer、Safari [Ver.2.0.3(417.9.2)以降]、Firefox、Google Chromeにてお願いします。

イ 演題受付期間

申込み開始日 2016年4月15日(金)

申込み締切日 2016年6月16日(木)15時まで

ウ 演題登録方法

・演題登録に際しては、演題申込み画面の指示に従って、発表形式(一般演題のみ)・筆頭演者・共同演者・所属機関名・連絡先の電子メールアドレス(携帯電話のメールアドレスは不可)・演題名・抄録本文などの必要項目をすべて入力してください。なお、以下の字数制限を超えると登録ができませんのでご注意ください。

演題名：全角50文字以内

抄録本文：全角800文字以内

総文字数「演題名・抄録本文・演者名と所属(最大20名)」全角：1,200文字以内

全角文字は1字として、半角文字は1/2文字として数えます。アルファベットの直接入力は半角英数ですので1/2文字となります。<SUP>などのタグは文字数には換算しません。半角カタカナや丸文字・ローマ字・特殊文字等の機種依存文字は使用できません。文字化けや変形を避けるために、特殊文字・記号・鍵括弧については、登録用ページの注意事項を厳守してください。

演題登録後しばらくして、入力していただいた電子メールアドレス宛に登録番号、演題受領通知が送信されます。演題受領通知が届かない場合は、演題登録が完了していないか登録した電子メールアドレスに誤りがあった可能性がありますので、運営事務局まで電子メールでお問合せください。

・演題登録後も締切前であれば抄録等の訂正是可能ですが、その際には登録番号およびパスワードが必要です。演題登録時に必ず控えておいてください。

・締切直前の3~4日間はアクセスが集中し回線が大変混み合うため、演題登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持って登録を行ってください。

・本文は口語体・常用漢字・新仮名づかい・ひらがな混じりとしてください。

- ・文中の英語・数字・単位については、「血液事業」の投稿規定に従ってください。
- ・本文は原則として、目標・方法・結果（または成績）・結論（または考察）の順に整理して記述するようお願いします。

エ 暗号通信について

オンライン登録および修正は、原則として暗号通信の使用をお願いします。この暗号通信の使用により、第3者があなたのパスワードを盗聴して、演題・抄録を無断削除したり、改ざんしたりすることを防ぐことができます。従って、当学会では原則として暗号通信の使用を推奨します。暗号通信は登録または修正作業が終わるまで継続されます。

ただし、暗号通信が使えない場合（施設やプロバイダーの設定に問題があるか、ブラウザーが古い）もありますので、その際は平文通信をご利用ください。平文通信においては、パスワード等の盗聴が可能ですから、情報漏えいの点で危険です。特に病院情報システムや電子メール用に使用しているパスワードの使用は絶対に避けてください。被害が演題、抄録以外にも及ぶ可能性があります。平文通信をご利用の際は、こうした危険性を十分に考慮してください。

オ パスワードについて

抄録を最初に登録するときに登録者本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号、パスワードに関してのお問合せは一切応じられませんので必ずメモをとるなど保管するようにしてください。演題応募時の登録番号とこのパスワードを用いることにより、登録後の変更が何回でも可能です。修正・確認は修正確認画面により行ってください。

また、登録番号およびパスワードは登録演題のほか、受領確認等にも必要です。これらに関する場合は、セキュリティの関係からお問い合わせには一切応じられません。

カ 演題登録に関する問い合わせ先

演題登録に関する問い合わせは、運営事務局まで、E-mailにてご連絡ください。

第40回日本血液事業学会総会 運営事務局
(株式会社JTBコミュニケーションデザイン内)
E-mail : jbp2016@jtbcom.co.jp

4 カテゴリー区分

演題カテゴリー区分は以下のとおりとします。演題登録時には最低でもカテゴリーをひとつは指定してください。

なお、演題数等により発表区分が希望と異なる場合もあり得ますことを予めご了承ください。

大区分	小区分
A 献 血	①献血推進 ②広報 ③問診 ④接遇 ⑤登録 ⑥問合せ ⑦その他
B 採 血	①採血をめぐる諸課題 ②全血採血 ③成分採血 ④採血事故 ⑤採血過誤 ⑥事前検査 ⑦記録 ⑧その他
C 検 査	①ABO, Rh 血液型 ②その他の血液型 ③HLA ④血小板型 ⑤細菌検査 ⑥検査サービス ⑦通知 ⑧その他
D 感染症検査	①HBV ②HCV ③HIV ④HTLV-1 ⑤その他ウイルス検査 ⑥NAT ⑦通知 ⑧その他
E 製 剤	①調製 ②包装・表示 ③保管 ④工程管理 ⑤品質向上 ⑥その他
F 供 納	①保管・運搬 ②需給予測 ③需給調整 ④記録 ⑤その他
G 学術・医薬情報	①適正使用 ②問合せ・苦情対応 ③輸血副作用 ④情報提供 ⑤医療機関との連携 ⑥中小医療機関対応 ⑦院内輸血療法委員会 ⑧合同輸血療法委員会 ⑨献血後情報 ⑩GVP ⑪その他
H GMP	①品質管理 ②製造管理 ③苦情・回収 ④教育・訓練 ⑤自己点検 ⑥査察対応 ⑦その他
I OA化	①情報システム ②イントラネット ③その他
J 分画製剤	①製造 ②供給促進 ③その他
K 技術協力	①自己血 ②洗浄血小板 ③依頼検査の対応 ④その他
L 造血幹細胞移植	①さい帯血バンク ②造血幹細胞提供支援業務 ③その他
M 管理運営	①危機管理・インシデントレポートシステム ②業務・財政 ③その他
N その他	①その他

5 発表形式

口演発表またはポスター発表のいずれかといたします。なお、一般演題からワークショップに変更させていただく場合もありますのでご了承ください。口演はPower Point (Windows版)によるPC発表のみといたします。発表要項および発表日程は、後日ホームページでお知らせいたします。
ポスター発表は、座長による掲示前での移動討論形式で行います。

6 演題選定

一般演題の採否および発表形式(口演／ポスター)につきましては、プログラム委員会に一任させていただきます。